

岡山県が国際貢献組織

10月設立 NNGOや経済界連携

全国唯一の国際貢献組織、経済界、大学、メディアなどによる連携組織「岡山発国際貢献推進」に設立する意向を明らかにした。地域の各団体がし、助け合いの心を岡山

から世界に発信する。(29面に関連記事)

国際貢献の官民連携組織は全国レベルでは、NGO、経団連、外務省などが協力してジャパン・プラットフォーム(東京)を二〇〇〇年八月に立ち上げたが、地方ではまだ少なく、岡山の取り組みが先進例となる。

二十九日に岡山市で準備会を開いて協議を始め、規約や事業計画などを詰め、同条例が定める国際貢献月間(十月)に立ち上げる。県内NGOなどでつくる県国際団体協議会、県商工会議所連合会、県農協中央会、県国際交流協会、公設国際

貢献大学校(新見市)、県内に本社のある報道各社などが賛同。今後、幅広い参加を呼びかける。

迅速な行動力を発揮するNGO、開発途上国が必要とする技術やノウハウを備える企業や行政、知識を持つ大学、多様な情報を伝えるメディアなどが力を合わせることで、教育、医療、農業、環境などの分野で新たな活動の展開が期待される。

協議会は会費(一口一万円程度)で運営予定。貢献活動をする会員間のマッチング、技術研修員の派遣や受け入れ、人材

育成、災害時の支援活動への協力などの事業が想定されている。

県は今年三月策定の国際化戦略プランで連携組織の設置を提唱していた。県国際課は「協働により貢献活動の質を高め、世界に信頼される岡山を目指す」としている。

県内は国際貢献をするNGOが国際医療ボランティアAMDA(岡山市)など約四十団体あり、地方都市の中では際立って多い。県は二〇〇四年四月に同条例を施行。救済物資を被災地に届ける活動などを続けている。